

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-02 社会福祉協議会支援事業 □支援部門						
主管課	福祉総務課	関連課					
分野名							
目標 (目標値)	社会福祉協議会が適切に運営できるように支援していく。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	54,186	63,749	67,008			
	(国・県)	0	0	0			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	54,186	63,749	67,008			
	人員配置数	0.9人	0.5人	0.5人			
	人件費(千円)	7,936	4,487	4,626			
事務事業運営経費	協働のパートナー	無					
	総事業費(千円)	62,122	68,236	71,634			
	市民1人当りの経費(円)	351	385	405			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
社会福祉協議会支援事業	54,186千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	自主財源の確保に向けた取組みが必要である。
課題解決のための取組	社会福祉協議会が、自主財源の確保に向け、検討を進めた。
未解決の課題	地域福祉の推進のため、その活動の充実が求められているが、市の補助金を増額していくことが難しい。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		社会福祉協議会が、事業の見直しを進め、補助対象事業を効率的に運営できるように、市としての支援を継続していく。	課長等名
	③有効性 ○				↓
	④公平性 ○			B	課長(代理) 鈴木 善博

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
社会福祉協議会 支援事業	主な個別事業	6 鎌倉市社会福祉協議会補助金	54,187	54,186	■適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり